

「大阪の成長戦略(案)」の主な修正点

1. 府議会、府民、経済界、市町村からの意見の反映

- ・9月議会での議論など府議会の意見に基づく修正
（例）中小企業の海外展開への支援、国際医療観光の推進 等
- ・パブリックコメント（H22. 8. 27～9. 27）でいただいた府民意見に基づく修正
（例）高齢者の社会参加の促進、成長産業分野への参入促進 等
- ・経済界、市町村からの意見に基づく修正
（例）ものづくり中小企業の位置づけ（SWOT 分析）、インフラ輸出の促進 等

※ 素案に対する意見：計417件

2. 訪日外国人の目標の修正（2020年に625万人→650万人）

観光戦略の目標数値では、近年の大阪への訪問率約25%にさらに上乗せし、H25に400万人、訪問率にして約26%を目標として設定していることから、成長戦略においても訪問率26%に上方修正

3. 主な取組の工程イメージの作成

方向性を共有するためには進め方をわかりやすく示す必要があることから、主な取組について工程イメージを作成

4. 用語の簡素化・平易化

下記方針にて用語を全般的に修正

- ① 平易な言葉への置き換え （例）ストック→既存資産
- ② 直後での言い換え （例）セーフティネット（救済のための仕組み）
- ③ 用語集での対応 （例）GDP、潜在成長率

5. その他、時点修正、よりわかりやすい表現やデータへの修正を実施

- ・総合特区の本提案や関西広域連合の設立を踏まえた修正
- ・具体的な取組などをよりわかりやすい表現へ修正
- ・阻害要因をよりの確に示すデータへの置き換え 等